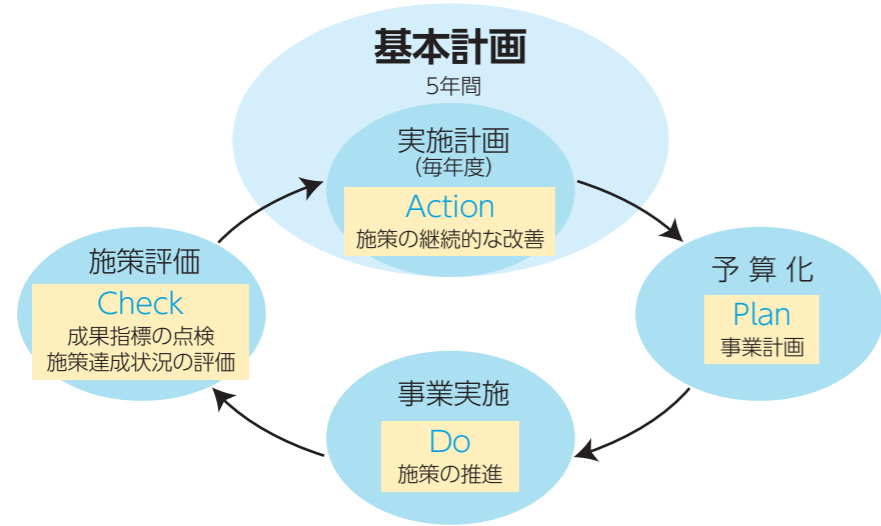


計画の推進に向けて

総合計画に基づき、各分野の施策・事業を効率的・効果的に実施するために、毎年施策評価をし、その結果に基づき次年度以降の方針を立て、実施計画へ反映させるPDCA サイクルによる計画の進行管理を行います。

【総合計画の進行管理システム】



●進行管理の実施体制

施策評価は、分野別計画に掲げる施策方針の評価を確認するとともに、その評価に基づき、実施計画原案を作成します。

実施計画原案をもとに、ヒアリングを行い、実施計画を策定します。

その後、実施計画に掲載した主要事業を含めた予算案を取りまとめます。

この予算案について議会での審議・承認を得て、各課等は予算に基づき事業を実施します。

■SDGsと基本計画の関係

- SDGs (持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標のことで、国際社会全体の開発目標です。
- SDGsは17のゴールと169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。
- 本町においても総合計画の推進を図ることで、この開発目標に貢献していきます。



第6次武豊町総合計画

スマイルビジョンTAKETOYO

後期基本計画

令和8年度(2026) ▶ 令和12年度(2030)

概要版



心つながり
みんなでつくる
スマイルタウン

第6次武豊町総合計画

スマイルビジョンTAKETOYO

後期基本計画

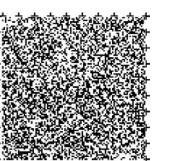
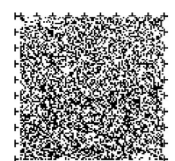
概要版

令和8年(2026年)3月

〒470-2392 愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地

編集:武豊町役場 企画部 企画政策課

TEL:0569-72-1111



右のマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。

武豊町

武豊町が目指す将来像

まちの将来像

心つながぎ みんなでつくる
スマイルタウン

心つながぎ

住民一人ひとりが互いを認め合い、支え合う、「**人がつながるまち**」の姿を表しています。そして、将来の住民にも心に向け、みんなの想いを未来につなげるという意味も込めました。

みんなでつくる

「みんなでつくる」という言葉には、まちで暮らすすべての人はもとより、地域の団体や事業者等の様々な主体がみんな主役となって、ともに作り上げる「**協働のまち**」の姿を表しています。

スマイルタウン

私たちが目指すまちは、みんなの笑顔の絶えない「**しあわせのまち**」です。その目標とするまちの姿を「スマイルタウン」という言葉で表現しました。

土地利用構想

これまでの土地利用の方針を基本としながら、「持続可能な都市」の構築に向けた視点にも配慮しつつ、効率的で秩序ある土地利用を進めていきます。

●土地利用の基本方針

(1) 4層構造の土地利用を基本とします

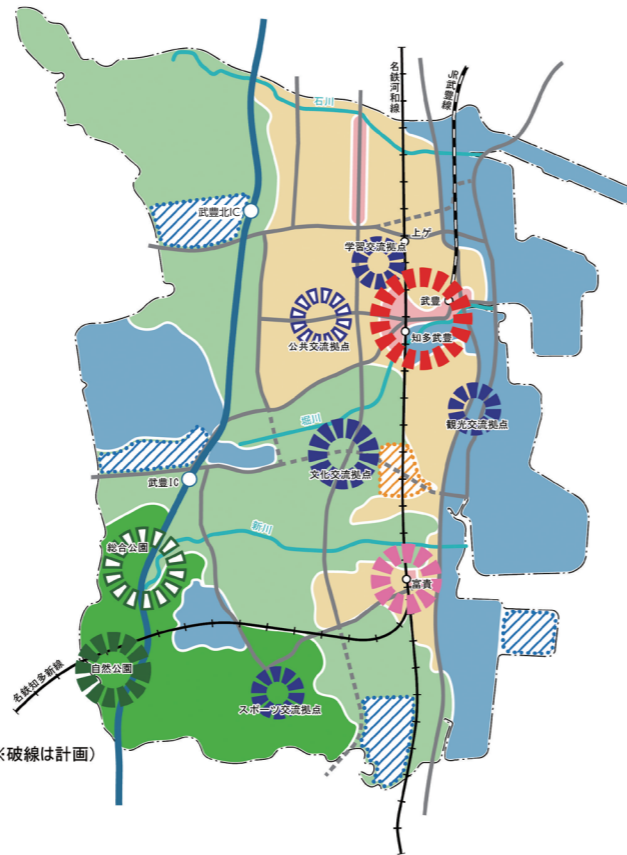
4層構造（臨海部の工業用地、平野部の市街地、平野部から丘陵部にかけて広がる農地、そして背後に広がる森林・丘陵地）の土地利用を基本として、安定した土地利用を図ります。

(2) 自然環境と調和した土地利用を進めます

海、河川、ため池、森林及び農地等を含めた自然環境と都市環境が調和する土地利用を進めます。

(3) 既成市街地の再生と有効活用を促します

快適に暮らせる住宅地や町のさらなる活力を創出する産業地の確保を検討します。また、既成市街地の再生と土地の有効活用を図り、人とまちが活気づく土地利用を進めます。



- 都市拠点
 - 地区拠点
 - 交流拠点
 - 緑の拠点
 - 住居ゾーン
 - 産業ゾーン
 - 商業ゾーン
 - 農業ゾーン
 - 自然ゾーン
 - 産業系土地利用検討ゾーン
 - 土地利用検討ゾーン
 - 交通軸：南知多道路
 - 交通軸：主な道路（※破線は計画）
 - 親水軸
 - 鉄道
- ※白抜きの拠点は未整備

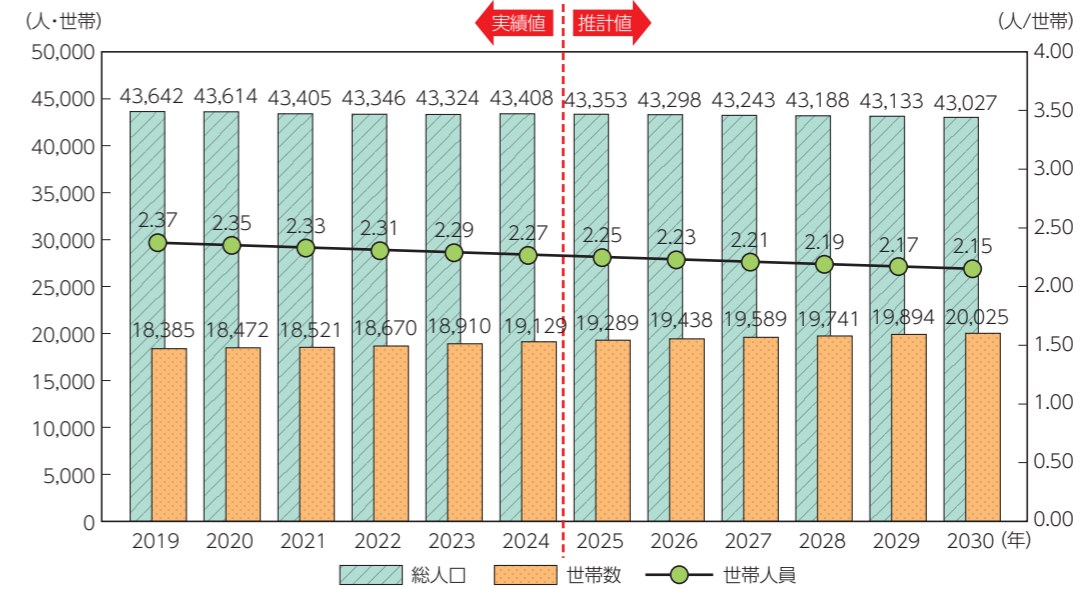
まちの主要指標

人口減少に転じた2020年度（令和2年度）以降の人口動向、町民等意識調査の結果等を踏まえ、まちの主要指標について、見直しました。

●人口・世帯数

社会増を維持していくことで人口減少の緩和を図り、本計画の目標年次である2030年（令和12年）の人口目標を**43,000人**とします。世帯数は高齢者等の単身世帯の増加により、概ね**20,000世帯**に増加することが見込まれます。

総人口・世帯数・1世帯あたりの人員の推移



●就業者数

人口の社会増を維持し、新たな産業の育成、雇用確保を図りながら、就業者数の減少を抑制することに努め、目標とする2030年（令和12年）の就業者数を**21,400人**、就業率を**56%**とします。

●幸福度

町民意識調査における幸福度を「しあわせ指標」として設定し、2024年（令和6年）に実施した町民意識調査の幸福度の平均点**7.0よりも上**を目指します。

第6次武豊町総合計画 後期基本計画について

●総合計画とは

総合計画とは、健康福祉、生活経済、都市基盤、教育等あらゆる分野の計画の基本となる行政運営の最上位計画で、町が目指すべき将来像、ならびにそれを実現していくための施策方針を定めた計画です。また、まちの将来像や施策方針を住民や事業者等と行政が共有することで、町全体でまちづくりを進めていくための、行政経営のビジョンとなるものです。

●後期基本計画について

「第6次武豊町総合計画」を2020年度（令和2年度）に策定してから5年が経過し、コロナ禍・円安・物価高騰・DX・気候変動など、本町を取り巻く社会環境は世界規模で大きく変化してきました。この間に、本町も人口減少と少子高齢化が進行し、今後もこの傾向は続く見込みです。

こうした状況の中、目まぐるしく変化する社会環境に対応しながら、基本構想に定めるまちの将来像「心つながぎ みんなでつくる スマイルタウン」と9つのまちづくりの目標の実現を更に推進していくため、「第6次武豊町総合計画」の中間評価、中間見直しを行い、持続可能なまちづくりの指針となる後期基本計画を策定しました。



計画の体系

武豊町総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層で構成しています。

基本構想 (2021年度～2030年度)

私たちが目指すまちの将来像とその将来像を実現するための9つのまちづくりの目標を明らかにしています。
(今回、基本構想の変更はありません)

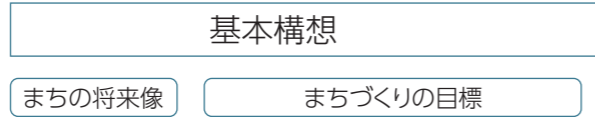
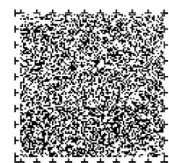
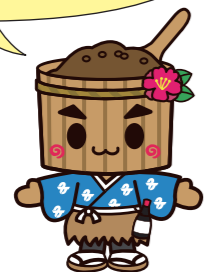
後期基本計画 (2026年度～2030年度)

基本構想で示したまちづくりの目標に沿った9つの分野別計画と分野横断的な視点としての重点施策方針を示しています。前期基本計画の施策の評価、課題分析、会議での住民との意見交換等を通して、後期5年に向けた見直しを行いました。

実施計画

各施策の主な事業と実施時期を明らかにするもので、3年単位の計画を毎年度別冊で作成します。

計画内容の詳細は、二次元コード、もしくは町公式ホームページから「第6次武豊町総合計画後期基本計画」で検索してください。



心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン

- 1 定住先として選択されるまち
- 2 安心して子どもを産み育てることができるまち
- 3 楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち
- 4 人と人がつながり、互いに支え合い、健康で安心して暮らせるまち
- 5 災害に強く、安全・安心に暮らせるまち
- 6 産業が持続・発展する活力のあるまち
- 7 環境にやさしいまち
- 8 多様な主体が連携・協働するまち
- 9 効率的で効果的な行政運営のまち

重点施策方針 (横断的視点)

- 1 選ばれるまちへ
- 2 こどもの学び・育ちを応援するまちへ
- 3 みんなが元気に活動・活躍するまちへ



分野1 都市環境

豊かな自然環境と交通の利便性を活かし、良好で潤いのある環境の中で快適性を感じながら暮らせるまちをつくることにも、住宅地としての良好なイメージを形成し、町の将来を担う若い世代を中心に定住先として選択されるまちを目指します。

分野2 こども

子育て世帯に対する充実した様々な支援とともに、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。そして、一人ひとりの子どもが、個性や能力が育まれる教育を受けながら、健やかに成長できる環境をつくり、地域の様々な人々と関わる中で、これからの地域を担う人材が育つまちを目指します。

分野3 学び

子どもから高齢者まで、誰もが生涯にわたって学び、生きがいを持って活躍できるまちを目指します。そのため、様々な団体の活動が活発に展開され、町内外からも様々な人が集まり、にぎわいのある交流が生まれる等、いきいきとした生活を送ることができるまちを目指します。

分野4 健康・福祉

多様な主体が連携しながら、様々な困難を抱えている個人や家庭を支え合い・助け合う仕組みを構築するとともに、担い手の発掘・育成を行い、誰もが継続して安心して暮らせるまちを目指します。

分野5 安全・安心

住民一人ひとりの意識を高め、犯罪や交通事故のない安全・安心なまちを目指します。また、自然災害に対する個人や地域、組織の対応力を高めるとともに、感染症拡大への対応を強化し、災害に強く、安全性の高いまちを目指します。

分野6 産業・交流

多様な地域資源を活用して、既存産業の振興や新たな産業の創出を推進するとともに、町外からの観光交流を活発にすることにより、産業が持続・発展する活力のあるまちを目指します。

分野7 環境

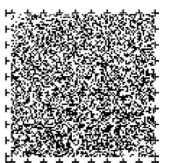
自然に囲まれた潤いのある環境の保全、町内の事業者や住民による省資源・低炭素化に向けた取組、地元農畜産物の地産地消の推進及びグリーンエネルギーの利用、自動車に過度に依存せず歩いて暮らせるまちづくり等を推進し、環境にやさしいまちを目指します。

分野8 まちづくり・地域経営

協働のまちづくりの担い手を育成するとともに、新たな協働の関係構築を促しながら、地域における課題の発見や解決に向けて、様々な主体が連携・協働するまちを目指します。

分野9 行財政

行財政改革を着実に進め、効率的な行政運営を進めるとともに、住民、各種団体、町内外の企業の知恵や力を活用して、地域課題の解決、社会資本の効率的な維持管理、社会経済環境の変化への的確な対応を図り、限られた財源の中で効果的な行政サービスが提供できるまちを目指します。



重点施策方針

9つの「まちづくりの目標」を分野横断的にとらえ、計画期間中に重点的に取り組む「重点施策方針」を以下のように決めました。

魅力 【重点施策方針1】 選ばれるまちへ

まちの魅力を再発見し、情報発信するとともに、都市基盤や産業基盤の整備等を戦略的に展開し、武豊町に住みたい、企業進出したいと思われる、選ばれるまちを目指します。

- たけとよファンの拡充
- 町の情報発信と住民サービスの向上
- 若者に選ばれるまちづくり

分野1/都市環境 1-1.市街地・住環境 1-2.交通基盤 1-3.上下水道	分野2/子ども 2-1.出産・子育て	分野3/学び 3-1.学校教育 3-2.生涯学習 3-3.スポーツ 3-4.文化芸術
分野4/健康・福祉 4-1.健康・医療 4-2.地域福祉 4-3.高齢者福祉 4-4.障がい者福祉	分野5/安全・安心 5-1.防災 5-2.防犯・交通安全	分野6/産業・交流 6-1.産業 6-2.観光・交流
分野7/環境 7-1.自然環境 7-2.生活環境	分野8/まちづくり・地域経営 8-1.住民活動・地域活動 8-2.相互理解 8-3.タウンプロモーション	分野9/行財政 9-1.行政運営 9-2.財政運営

【重点施策方針1】 選ばれるまちへ

指標	説明	参考値 (2018年)	実績値 (2024年)	目標値(2030年) 【当初目標値】
人口の社会増	各年度の人口の社会動態 (転入者数-転出者数)	169人 (2014~2018年度平均)	155人 (2020~2024年度平均 ※2021年度は除外)	170人 【170人(現状維持)】
若者世代の社会増	20~30歳代の人口の社会動態 (転入者数-転出者数)	39人 (2014~2018年度平均)	56人 (2020~2024年度平均 ※2021年度は除外)	60人 【-】

※社会動態は年度による変動が大きいため、社会増は5年平均としている。参考値、実績値も5年平均。ただし、2021年度のみ新型コロナウイルス感染症による影響が大きいため、平均値の算出から除外する。

※【当初目標値】は、前期基本計画(2021~2025)において定めていた目標値。なお、後期基本計画で新たに追加した指標の当初目標値は【-】(バー表示)となっている。



子ども 【重点施策方針2】 こどもの学び・育ちを応援するまちへ

学校・保育園等とはもとより地域住民や民間企業・団体が連携して、子育て・子育てをサポートするとともに、子ども一人ひとりに合った居場所づくりやこどもの意見や声を反映できる、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

- 多様な交流・体験の場づくり
- 子どもたちが主体となる活動の展開
- 子育てをサポートするサービス・体制の充実
- 地域と子どもたちとの絆づくり

分野1/都市環境 1-1.市街地・住環境 1-2.交通基盤 1-3.上下水道	分野2/子ども 2-1.出産・子育て	分野3/学び 3-1.学校教育 3-2.生涯学習 3-3.スポーツ 3-4.文化芸術
分野4/健康・福祉 4-1.健康・医療 4-2.地域福祉 4-3.高齢者福祉 4-4.障がい者福祉	分野5/安全・安心 5-1.防災 5-2.防犯・交通安全	分野6/産業・交流 6-1.産業 6-2.観光・交流
分野7/環境 7-1.自然環境 7-2.生活環境	分野8/まちづくり・地域経営 8-1.住民活動・地域活動 8-2.相互理解 8-3.タウンプロモーション	分野9/行財政 9-1.行政運営 9-2.財政運営

【重点施策方針2】 こどもの学び・育ちを応援するまちへ

指標	説明	参考値 (2018年)	実績値 (2024年)	目標値(2030年) 【当初目標値】
出生数	各年度の出生数	347人 (2014~2018年度平均)	295人	300人 【320人】
こどもの幸福度	中学生意識調査で「あなたは、今、どの程度幸せですか」で回答した幸福度(0点~10点)の平均点	6.7点	7.1点	8点 【-】
若者・子育て世代からみた、武豊町の住みごころ	若者・子育て世代アンケートで「大変住みやすい」または「まあまあ住みやすい」と回答した割合	84.2%	84.1%	86% 【86%】

※出生数の参考値は5年平均。



元気 【重点施策方針3】 みんなが元気に活動・活躍するまちへ

多様な主体の活動を活性化しつつ、すべての住民が元気に活動・活躍するまちを目指します。

- 健康づくり応援
- 活動・活躍の場に関する情報の充実
- 団体活動の活性化

分野1/都市環境 1-1.市街地・住環境 1-2.交通基盤 1-3.上下水道	分野2/子ども 2-1.出産・子育て	分野3/学び 3-1.学校教育 3-2.生涯学習 3-3.スポーツ 3-4.文化芸術
分野4/健康・福祉 4-1.健康・医療 4-2.地域福祉 4-3.高齢者福祉 4-4.障がい者福祉	分野5/安全・安心 5-1.防災 5-2.防犯・交通安全	分野6/産業・交流 6-1.産業 6-2.観光・交流
分野7/環境 7-1.自然環境 7-2.生活環境	分野8/まちづくり・地域経営 8-1.住民活動・地域活動 8-2.相互理解 8-3.タウンプロモーション	分野9/行財政 9-1.行政運営 9-2.財政運営

【重点施策方針3】 みんなが元気に活動・活躍するまちへ

指標	説明	参考値 (2018年)	実績値 (2024年)	目標値(2030年) 【当初目標値】
生きがいを感じている住民の割合	町民意識調査で、「生きがいを感じているものがありますか」の問いに「はい」と回答した割合	65.9%	63.9%	70% 【70%】
まちづくり活動への参加率	町民意識調査で、「地域の行事やお祭りに参加していますか」の問いに「はい」と回答した割合	43.5%	42.7%	50% 【50%】
ボランティア、NPO活動に参加したい(これからも参加したい)住民の割合	町民意識調査で「ボランティア、NPO活動に参加したい(これからも参加したい)」と回答した割合	33.7%	29.6%	40% 【-】



重点施策方針については、公募町民(14名)、団体推薦(7名)、町職員(11名)からなる「まちづくり会議」を開催し、そこでの意見をふまえて見直しました。



まちづくり会議の様子

